

■自粛は必要なし、経済活性化は支えたい...

そのほかにも、震災がもたらしたミセスの微妙な気持ちの変化あり

大震災後から1カ月以上が過ぎ、「過剰な自粛はせず経済を活性化させよう」という声が強まっています。日本経済は支えたい、でもホンネを言えば疲れもたまって気持ちは沈みがち。ゴールデンウィーク直前、少し複雑なミセスの気持ちです。

<調査概要> 期間 : 2011年4月14日～4月17日

回答者 : ウェブサイト「えるこみ」ユーザーの既婚女性441人

そのうち首都圏在住者218人、静岡県以西在住者201人、その他22人

※グラフは小数点以下第2位を四捨五入のため
 合計100%にならないものもあります

※本調査は通常の回答者謝礼はなし、相当額を被災地の義援金とするかたちで実施しました

■花火大会、お祝い事、地域のお祭り... 8割～9割が「自粛の必要はない」

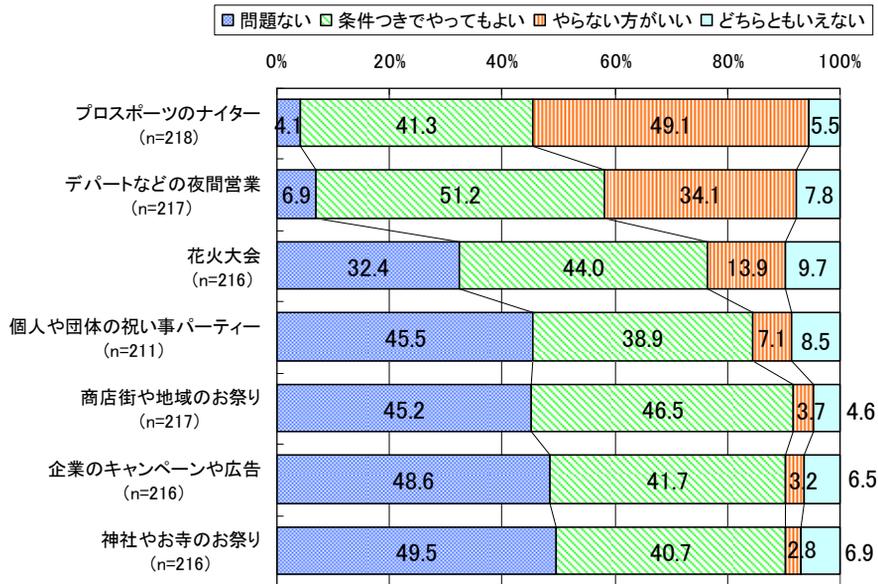
一連の統一地方選挙も終わり、GW直前。主婦を代表とする生活者の気持ちも、震災直後の自粛ムードから切り替わっていくはずの時期です。

各種イベントについても、「電力を大量消費するもの、過剰な浮かれ騒ぎでなければ、やっても問題ない」という意見が大半。花火大会、個人や団体のお祝い事、商店街のお祭りなどについても、「今はやらない方がいい」と考える人は少数でした。

ただし今、震災以来続くストレスのためかミセスはかなり、お疲れ気味(裏面参照)。そのため、「自粛」ではないけれど、「積極的に行動する気分になれない」という人がたくさんいます。

が、さらに一方では、震災のあとに、「持ち物の整理をしよう」「やりたいことは先延ばしせずに今やろう」など、気持ちの変化があった人も多数。この微妙な気持ちの動きに寄り添う提案が、この時期の「ミセスを動かす」重要ポイントになってくるでしょう。

グラフ① あなたは下記のイベントなどの開催を、どう判断する?(首都圏ミセス)



ミセスの「震災疲れ」データは「裏面」に続く =>

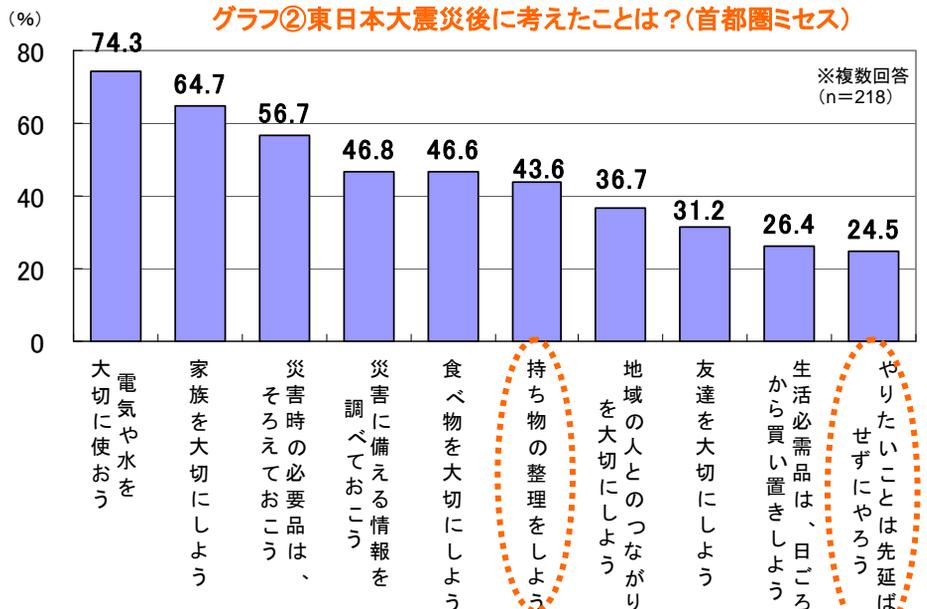
震災がもたらした、意外な気持ちの変化!

「持ち物の整理をしよう」
 「やりたいことは今やろう」

「電気や水を大切に」「家族を大切に」。このような気持ちになる人が多いのは、想定できた。が、予想を超えて多かったのが「持ち物の整理をしよう」43.6%、「やりたいことは先延ばしせずにやろう」24.5%。

コメントを見ると、突然襲った大災害に、自分の人生、生活を振り返って「今、何があっても後悔のないように」と考えた人が多い。「やりたいこと」で代表的なのは「旅行」と「資格取得」。いつか...と思ってきたことを、この震災をきっかけに、本気で実現させたいと考え出している人も多いようだ。

グラフ② 東日本大震災後に考えたことは?(首都圏ミセス)

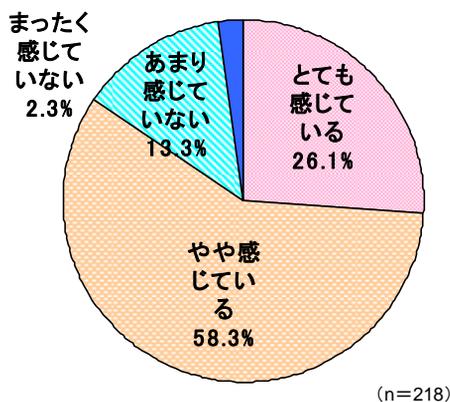


「地震酔い」「気持ちが暗い」「眠れない」

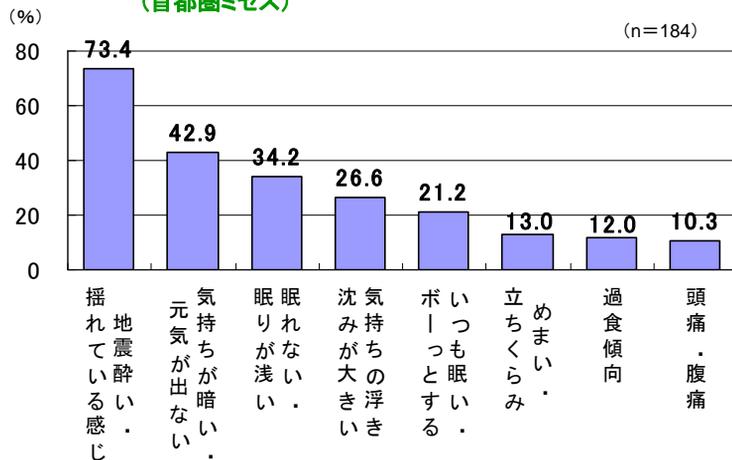
元気ミセスにも震災疲れ、GWは家の近くで過ごしたい

「被災地の苦労を考えると、こんなことくらい…」とは思いつつ、首都圏でも余震や原発事故の長期化などで、通常よりもストレスを感じる状態が長期化しています。首都圏ミセスの84.4%が「心身の疲れを感じている」と回答。「地震酔い」を感じる人や、「気持ちが暗い」「眠れない」など、さすがの元気ミセスたちも、お疲れモードです。その影響もあってか、今回のGWは遠出を予定する人は少数。「家の近所で、ゆっくりと過ごす」のが主流です。

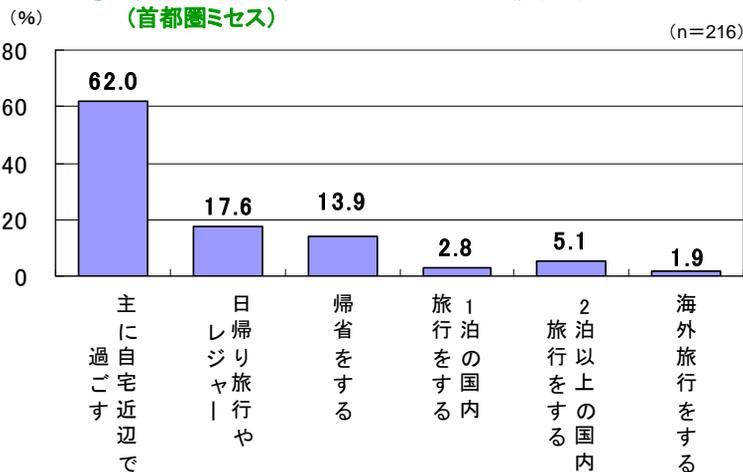
グラフ③ 震災の影響で心身の疲れがたまっていると感じますか？（首都圏ミセス）



グラフ④ 疲れを感じる人、具体的に感じることは？ ※複数回答（首都圏ミセス）



グラフ⑤ 今年のGWに予定していることは？ ※複数回答（首都圏ミセス）

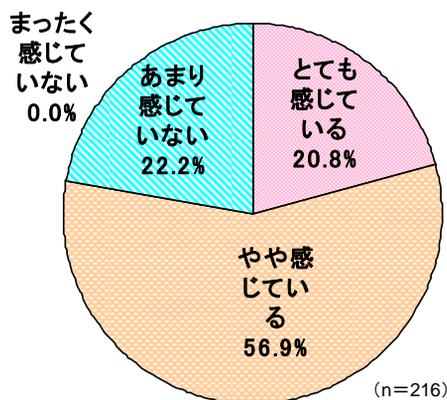


【なぜ、GWなのに出かけないの？】

- あまり遠くへは行きたくない。家のことが心配なので。今までは旅行などに行っても、家本体そのものの心配などをしたことがなかったのに。(神奈川県・44歳)
- お祭りやイベントが中止になってしまったので、小さな子供と楽しめる場所が少ない。(千葉県・31歳)
- 一泊旅行をしたいと考えていたが旅行先で被災したくないのであまり出かける気にならない。(東京都・40歳)
- 主人の会社が、電力不足等の理由で休業せざるを得ない状況なので、私自身が仕事を休むわけにはいかなかった。(神奈川県・35歳)
- 海外旅行をしたかったけど、それどころではない感じ。(東京都・29歳)

未曾有の災害に、「考え方や人生観の変化を感じている」ミセスが77.7%

グラフ⑥ 大震災の後、自分の考え方や人生観が変わったと感じますか？（首都圏ミセス）



【こんなことを考えています】

- 「明日できることはあとでやろう」が多かったけれど、「できることは今のうちにやっておく」を心がけるようになりました。今までがだらけていただけですが、ある程度見通しが立って、不安を軽減できているような気がします。(千葉県・39歳)
- 専業主婦なので節約第一でしたが、復興のために消費が大切と思うようになった。(埼玉県・44歳)
- 後回しにせず出来ること、友人、知人に積極的に連絡を取ったり会ったりしている。(千葉県・36歳)
- 現在使用中の、ガソリン車を買換えるときはハイブリッドカーにするか、電気自動車にするか迷っていたが、ハイブリッドカーに軍配があがった。(千葉県・43歳)
- 衣食住のうち、食の水と米は絶対必要。衣と住は金さえあればよい。貯蓄を大事と思う気持ちが強くなった。(東京都・47歳)